

令和 8 年度 第2回 芳川小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 2026 年 7 月 1 日(水) 13 時 15 分から 15 時 25 分まで
- 2 開催場所 芳川小学校 CS ルーム
- 3 出席委員 海老名俊樹、林容子、鈴木幸彦、犬居和賀代、鈴木麻里、前島杏里、井本陽介
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 袴田唯之(南陽協働センター)
- 6 学 校 結城知則(校長)、鈴木由香(CS 担当教員)、内田由佳(CS ディレクター)
- 7 教育委員会 山本俊行(学校・地域連携課)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 内田由佳

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、林容子委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 子供たちの主体性を高めるために
- (2) 学校における働き方改革の一層の推進について

12 会議記録

司会の鈴木(由)から、委員 7 名全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 子供たちの主体性を高めるために

【校内研修の説明後、委員による授業参観を終えて】

- ・ 今年度の研修主題を「学びを楽しむ子の育成」とし、子供が主体的に学びを選択する場面(図やブロック、学ぶ場所の選択など)や、子供が進行する授業づくりを重点的に進めている(学校)。
- ・ どのクラスも雰囲気良く、分からないことを「分からない」と言える安心感がある。先生が教え込む授業から、子供たちが互いに学び合うスタイルへ変化していると感じた。
- ・ 6 年生の算数などで子供が自分で目当てを立てたり、話合いの時間を自分たちで決めたりしている姿に驚いた。タブレットを使いこなし、多様な友達と意見を交わす仕組みも素晴らしい。
- ・ 「チーム担任制」により、担任以外の先生も教室の様子を把握し、トラブル等に迅速に対応している様子は、保護者として非常に心強い。

(2) 学校における働き方改革の推進について

- ・ 働き方改革の真の目的は、教師が心身ともに健康で、笑顔で子供たちの前に立ち、質の高い教育を提供し続けることである。これを「子供の幸せのため」の改革として発信していきたい(学校)。
- ・ 放課後の公園でのトラブルや SNS 上の問題など、本来は家庭や地域で解決すべき事案まで学校が担っている現状がある。これらを本来の役割分担に戻すことで、教師が授業準備に注力できる環境を作りたい(学校)。
- ・ 「先生を楽にするため」という表現では誤解を招きやすい。「子供たちの安全や質の高い学びを守るために、地域や家庭がこの役割を担おう」という前向きな呼びかけが必要である。
- ・ 高齢者や地域のボランティアをうまく活用し、登下校の見守りや校内整備などを地域主体で行う仕組みを強化したい。それが結果的に先生の負担軽減と子供の笑顔に繋がる。

その他報告事項等

(1)「ほうがわクスノキ応援団」活動報告

- ・ 1 年生へのボランティア紹介ツアーを経て、新たに 31 名が登録。給食支援や調理実習、車椅子体験のサポート、学校園の整備など、多方面で地域住民が活躍している(学校・委員)。

(2) 学校評価アンケートについて

- ・ 例年通り 11 月末から 12 月にかけて実施予定であることが伝えられた(学校)。

(3) CS 研修会報告

- ・ 6 月に開催された研修会の内容を共有。他校の事例や専門家の意見を参考に、委員の多様性を活かした運営の重要性を再確認した。

連絡

司会から、次回の第3回協議会は、2026 年 10 月 19 日(月)午後 1 時00分から CS ルームで開催する旨の報告があった。